

平成 26 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の問 1, 問 2 の両方に解答しなさい。なお, 問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し, 問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 x 財と y 財を消費する消費者の効用関数を $u=xy$ とする。x 財の価格を 2, y 財の価格を 3, 消費者の所得を 100 とする。計算結果だけでなく, 計算の過程も記すこと。

- (1) x 財と y 財の需要を求めなさい。
- (2) x 財の価格が 4 に上昇したときの, x 財と y 財の需要を求めなさい。
- (3)(2)における価格の変化後, 価格変化前の効用を消費者が得るには, 消費者に対してどれだけの所得を与えればよいか。その最小値を求めなさい。

問 2 企業の生産関数が $Y = \sqrt{K} + \sqrt{L}$ で与えられる。産出物の価格は P , 物的資本のレンタルコストを r , 賃金率を w とする。このとき, 以下の問いに答えなさい。

- (1) 「生産関数アプローチ」を用いて最適資本・労働投入量を求めなさい。
- (2) 以下は「費用関数アプローチ」による問題です。費用最小化問題を数学的に定式化しなさい。
- (3) それを図解しなさい。
- (4) 条件付き要素需要関数を求めなさい。
- (5) 長期費用関数を求めなさい。
- (6) 長期供給関数を求めなさい。

以上